

「生活の補助になっている」

民青県委 松江で3回目の学生食料支援

日本民主青年同盟島根県委員会は7月18日、松江市の島根大学から約500名離れた集会所で



食料支援「ハッピーフードプロジェクト」に取り組みました。同場所では今年5月に続き3回目。県内では7回目の活動。学生が次々に来場し、食料や日用品などを受け取りました。リピーターの利用も多く、学生の信頼を得ています。(写真)

核兵器廃絶は世界中の願い

県原水協のメンバーが県庁訪問

7月20日に島根県入りした原水爆禁止国民平和実行連(富山・広島コース)で、原水爆禁止島根県協議会の西尾幸子代表理事(89)、同事務局の西村容子氏(79)ら

3氏が21日、県庁と県議会を表敬訪問しました。日本共産党の尾村利成、大國陽介の両県議が同席しました。広島への原爆で県立広島第一高等女学校1年生

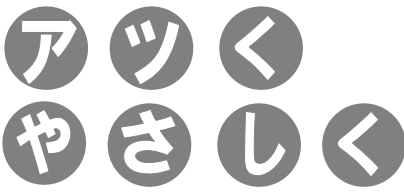
かと不安に思っている」と打ち明けました。SNSを見て来たという大学3年の学生の2人は「飲食店でバイトをしていたが、シフトに入る回数が減り、収入が減っている」「この企画は生活の補助になっている」と、ありがたそうに受け取りました。

命の危険にまともに向き合う政府を

7月に入り、中国地方も度々大雨に襲われ、皆さんのお住まいの地域は無事だったでしょうか。8日には広島



大平よしのぶ 衆議院 前議員



県内各地で河川の堤防決壊や内水氾濫、がけ崩れが起き、広い地域で住家や店舗への浸水被害が起こりました。私は8日午前、県内の全地方議員に電話し、状況をつかんで集中していただくよう呼びかけるとともに、9日には三原市と東広島市、10日には竹原市にかけつけました。

三原市では「鉄板加工の機械が水没。ダメなら550万円がパーに」と話す社長に、その隣で店舗を掃除中の自動車整備関係の男性から「せめて店の前の道路の冠水ぐらい行政でなんとかしてくれ」と怒りの声がぶつけられます。東広島市でも檜原地域の理容

院で「これでもう4回目。支援金はええから頼むから水が溢れんようにして」との声が。安芸津町の三津大川の護岸が3年前の豪雨で崩落した箇所と同じところがよりひどく崩れており、市の担当者も「心が折れます」と肩を落としていました。竹原市では宿根地区で唯一の道路が完全に崩落し寸断。2世帯50人が孤立状態。緊急の復旧工事が求められていました。

週が明け、県への申し入れを行い、各地の実情を伝え、緊急対応と整備計画の早期着手を求めました。宿根地区の孤立はその後復旧して解消し、三原市では寺田元子市議が臨時議会で被災者への見舞金を従来

の枠組みを拡充して支給するよう求めています。災害から命と財産を守るための政治の責任は、一層重みを増しています。ところが、少し日がたつてからニュースで「岸田文雄氏の秘書らパーティーで新型コロナウイルスに感染」との見出しが。よく見ればパーティーの日付は7月8日というではありませんか。会場には他にも広島県選出の自民党議員もいたとのこと。

思い起こせば3年前の西日本豪雨の際も自民党は宴会中でした。五輪もそうですが、命の危険にまともに向き合えない議員や政府に政治を担う資格はありません。やっぱり政権交代ですね。(7月22日記)

地域の話題

安 衆 体育館にエアコンを 原田議員が要求

原田議員「災害が多発化、大規模化している。災害時に避難所となる体育館にエアコン設置を望む声を聞いている。国や県にも要望しているのか。」

遠藤統括危機管理監

大規模災害時には、学校の体育館を避難所として使用する。空調設備の整備に補助事業などがあることを承知しているが、避難所としてエアコンの整備を行う考えはない。空調設備のない避難所では、大型の扇風機やスポットクーラーなどで対応する。昨年度の予算で若干購入した。(原田きよ子の議会だよ

アムロム

雲 島根原発再稼働反対を 後藤議員が市長質す

後藤議員「福島原発事故から今年3月で10年になったが、事故はいまだ収束せず、原子力災害による被害は多くの避難者、関連死、放射能物質による汚染、地域産業の衰退、地域コミュニティの破壊など甚大で長期に及んでいる。市民の安全・安心のまちづくりをめざすなら、市長が島根原発再稼働反対を表明することが求められる。飯塚市長「まずは、原子力規制委員会における島根原発2号機の審査状況を注視していく。再稼働に関する手続きとしては、今

居酒屋の灯を消すな 日本共産党の新しい政策ポスターができました。(写真左)

後、規制委から新規制基準による設置変更許可がなされた場合には、国から安全対策、避難対策、原発の必要性などを、中電から安全対策等に関する説明を受けた上で、市民、市議会、原子力安全顧問会議、原子力発電所環境安全対策協議会等の意見を十分に聞きながら、市としての意見をまとめたいと考えている。(日本共産党出雲市議会報告)より

南 高卒までの医療費助成 飯 10月から施行へ

以前から要求していた子どもの医療費助成が、高校卒業程度まで拡充されます(予算193万円)。9月議会に条例が提出され、10月から施行される予定です。(伊藤好晴の議会報告)より

|| 当時(13) || だった同級生223人が被爆し亡くなった体験を語り続けている西尾代表理事は「核兵器は人道的にも許されない。平和で核兵器のない世界はすべての人の願い」と強調しました。対応した木次淳総務部次長は「核廃絶は世界全



木次総務部次長(左から3人目)とともに



糸賀県議会事務局次長(右から3人目)とともに

2021年「平和の波」
8月6日(金)
●8:00~8:30
スタンディング(県庁前)
●8:15~平和の鐘(県内各地の寺)
●9:30~12:30
広島世界大会オンライン視聴会
(県民会館310号室ほか県内各地)
主催:原水爆禁止島根県協議会

